

ごあいさつ

皆さまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられている皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

このたび、ディスクロージャー誌「第113期営業のご報告(2020年4月1日～2020年9月30日)」を作成いたしましたので、ご高覧のうえ、当行について一層のご理解を深めていただければ幸いです。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、企業の生産活動や家計の消費活動が停滞したことで急速に悪化し、地域社会においては、様々な課題が顕在化しております。

2020年度からスタートした第五次経営強化計画では、こうした新型コロナウイルス感染症の影響により、一段と厳しい状況にある事業者及び個人のお客さまにしっかりと寄り添い、金融仲介機能の発揮やお客さま本位の良質なサービスの提供等を通じて地元鹿児島県の経済活性化へ積極的に関与し、これまで以上に、皆さまのご支援にお応えできるように銀行全体で取組んでまいります。

今後とも『地域に密着し、真に地域の発展に役立つ銀行』を目指してまいりますので、皆さまにおかれましては、一層ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



取締役頭取 斎藤 真一

2021年1月

取締役頭取 斎藤 真一

CONTENTS

- 経営理念・経営強化計画 1～2
- 当行の考え方 3～5
- 中小企業の経営の改善及び
地域の活性化のための取組みの状況 6～7
- 2020年9月期業績ハイライト(単体) 8～10
- 地域とお客さまの発展のために 11～13
- 組織・ネットワーク 14～17
- 資料編 19～56

シンボル・マーク



「南日本銀行」の頭文字「M」をデザイン化したものです。楕円の1つは南日本銀行であり、もう1つは地域を表現しています。

2つの楕円が緊密な結合をし、地域と銀行、お客様と銀行、人と人との密接な関わり、信頼関係、また、銀行内のしっかりした団結をも意味しています。

「M」は変化し、限りなく拡大するイメージを想起させ、互いに寄り添い、シンプルな形状の中にも、銀行の持つ力強さ、未来性が表現されています。

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

当行の概要



本店所在地	鹿児島市山下町1番1号
創業	1913(大正2)年9月4日
資本金	166億1百万円
店舗数	本支店64カ店 (本支店61、出張所3)
従業員数	914人 (嘱託・パート・出向者含む)
主要勘定(単体)	総資産 7,865億円 預金残高 7,346億円 貸出残高 5,694億円 (2020年9月末現在)